

事務事業調書

平成26年度

事業No	782	課	スポーツ課	係	施設管理係	起案者	岩瀬重利
						決裁者	野畑伸
事務事業名	スポーツセンター施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 1 公共スポーツ施設の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-30-30		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	体育施設の設置及び管理に関する条例						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成13年度	経過	13年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	利用者が			~になる	快適に過ごせるようにする		
事務事業の内容	スポーツ施設として、利用者の健康づくりの場を提供できる運営を行います。							
改善・対策の履歴	利用者への安全環境・情報提供とともに利便性の向上を進めていきました。 プール監視員の監視中のありかたをはじめ、救助訓練を実施しました、トレーニングルームにおいても指導員の配置及び講習会の開催を継続します。 施設面においては平成25年度は約21件の修繕を実施しました、今後とも安全、快適な環境づくりを実施してまいります。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	179,931	181,957	212,415	217,616	209,018
財源計	172,056	167,467	199,815	205,016	196,418
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	54,951	54,621	53,500	53,359
	一般財源	117,105	112,846	146,315	151,657
受益者負担金	54,951	54,621	53,500	52,064	51,117
職員人件費 (従事職員数)	7,875 (1.25)	14,490 (2.30)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	監視業務(一式)	活動の総事業費(千円)	60,692	60,745	61,001	
			活動にかかるコスト(千円)	60,692.00	60,745.00	61,001.00	
活動2	活動名 (活動内容)	委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設保守管理(一式)	活動の総事業費(千円)	40,810	36,377	51,026	
			活動にかかるコスト(千円)	40,810.00	36,377.00	51,026.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移								
		指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	施設利用者数(千人)			目標	204.00	209.00	200.00	197.00
				実績	209.00	200.00	197.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	平成24年度利用者数内訳：プール利用者77,775人 トレーニング60,673人 アリーナ48,951人 エアロビクス等9,700人 平成25年度利用者数内訳：プール利用者78,219人 トレーニング58,833人 アリーナ47,911人 エアロビクス等9,558人

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	業務を集約し、契約数を減らすことにより、経費の削減を行いました。機器の老朽化により点検箇所数や監視箇所数の増加により、活動コストが上昇した結果となりました。
成果	老朽化による故障により使用できない器具等があったため、利用者数が減ったと考えます。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
利用者の安全をさらに図るべく、引き続き職員の研修を行います。 長期的な機器類の整備計画を作り、安定的な施設稼働と利用者へのサービス提供を行います。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	機器類の整備計画を作成し、予防保全の実施による安定的なサービス提供を図って行くことで事業を継続していきます。